

科目ナンバー	C4303	要件	教職必修	授業形態	演習	対象学生	I A B
授業科目	体育の基礎						
実施期	前期	単位数	1単位	授業担当者	林 悠子		
【科目の概要】							
乳幼児期における運動の重要性や発育発達段階に応じた運動遊びの内容や指導方法や安全配慮について学ぶ。また、運動の大切さを理解し、幼児に向き合うのに十分な体力が身に付くよう様々な運動遊びを実践する。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	乳幼児の体育についての全般的な基礎知識や発育発達について理解している。						1-d
イ	乳幼児の発育発達や環境に応じた運動遊びを考えられる。						2-c
ウ	自分自身の身体を動かすことに慣れ親しみ、基礎体力を身に付けようとしている。						4-d
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	講義についての説明・乳幼児期運動発達に関する理解①			月 日	シラバス・教科書をよく読んでおく。		
2	乳幼児期運動発達に関する理解②			月 日	教科書をよく読んでおく。(0.5時間)		
3	伝承遊び①：昔の遊びの調査			月 日	昔の遊びについて家族に聞いたり図書館で資料を探す。(0.5時間)		
4	伝承遊び②：昔の遊びの実践			月 日	昔の遊びと今の遊びとを比較する。		
5	球技①：さまざまなボール遊び			月 日	身近なボール遊びを調べる。(0.5時間)		
6	球技②：ボール遊びの環境設定			月 日	ボール遊びに適切な環境ややり方を考える。		
7	球技③：ボール遊びの創作 (獲得を目指す力の確認)			月 日	ボール遊びを考える。(0.5時間)		
8	身近なものをを用いた運動遊び①：フープ			月 日	遊びに適した身近な素材を探す。		
9	身近なものをを用いた運動遊び②：新聞紙やペットボトル			月 日	遊びに適した身近な素材を探す。		
10	身近なものをを用いた運動遊び③：タオルやなわ			月 日	遊びに適した身近な素材を探す。		
11	サーキット遊び①：遊びの考案			月 日	サーキット遊びを考える。(0.5時間)		
12	サーキット遊び②：実践指導(発表)			月 日	環境や指導方法について準備する。(0.5時間)		
13	安全配慮と環境設定①			月 日	教科書をよく読んでおく。(0.5時間)		
14	安全配慮と環境設定②			月 日	活動の際の環境や安全面について考える。		
15	講義のまとめとフィードバック			月 日	講義全体を振り返る。		
16				月 日			
【教科書・テキスト】 「保育と幼児期の運動あそび」 岩崎洋子 編(萌文書林)				【成績評価の方法】 平常点[意欲・授業態度]:30% ミニ発表およびレポート:30% 　まとめレポート:40%			
【参考書・教材】							
【履修要件及び履修上の注意事項】 ジャージ等動きやすい服装および体育館シューズを着用して受講すること。 ジーンズやスカート等、普段着での受講は原則として認めない。							
【履修上の遵守事項】 当該授業受講にあたり、15分以上遅刻をした学生は欠席扱いとする。着替えは必ず更衣室で行い、私物はロッカーで管理すること(アリーナには教科書・筆記用具等必要な物の持ち込みのみ許可する)。遵守事項については平常点に加味する。							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先：アリーナ2階 A3 林 研究室      オフィスアワー：							

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア	乳幼児の体育や発育発達についての基礎的理解		乳幼児の発育発達段階について理解している。	乳幼児の発育発達段階について理解し、適切な運動遊びを行うことができる。	乳幼児の発育発達段階に応じた運動遊びを提供することができる。
イ	乳幼児の発育発達や環境に応じた運動遊びの創作力		運動遊びを行う上での環境設定について理解している。	運動遊びを行う上での指導者の立場から創作することができる。	運動遊びを行う上で、適切な環境を設定し、安全面に配慮して指導ができる。
ウ	身体を動かすことへの意欲と関心		自身の体力レベルを理解している。	自身の体力や健康状態を把握し、実習等で必要な体力レベルの向上を目指すことができる。	講義内だけでなくふだんから積極的・意識的に体を動かし、体力レベルの維持向上に努めることができる。

この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等